

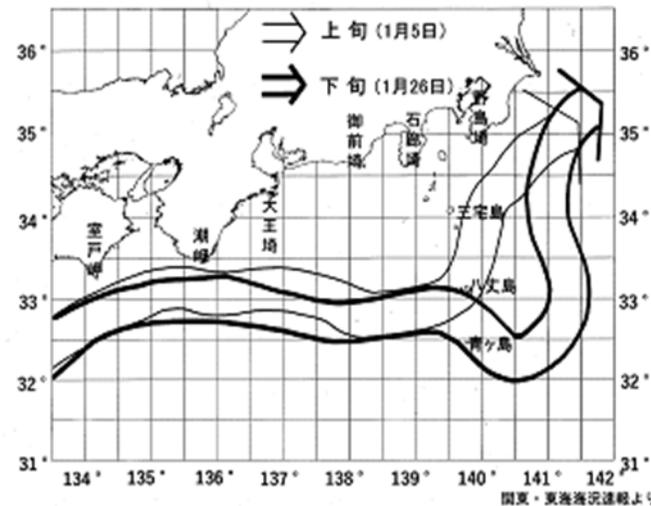
漁海況月報

令和8年1月1日

No. 1 ~1月31日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



1月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

| 期間 | 伊東 | 稲取 | 下田 | 雲見 | 沼津 | 焼津 |
|----|------|------|------|------|------|------|
| 上旬 | 15.9 | 15.8 | 15.7 | 14.9 | 15.6 | 15.8 |
| | 0.5 | -0.4 | 0.0 | -0.7 | 0.2 | 0.5 |
| 中旬 | 14.4 | 14.9 | 14.5 | 13.9 | 13.9 | 14.1 |
| | -0.4 | -0.7 | -0.8 | -1.3 | -1.1 | -0.8 |
| 下旬 | 14.0 | 14.0 | 14.2 | 13.5 | 12.5 | 13.7 |
| | -0.4 | -1.1 | -0.6 | -1.2 | -1.8 | -0.8 |
| 月 | 14.7 | 14.8 | 14.8 | 14.1 | 13.9 | 14.5 |
| | -0.1 | -0.7 | -0.4 | -1.1 | -0.9 | -0.4 |

*平年値：過去30年(平成3年～令和2年)の平均値

【黒潮流路】

1月を通じてC型であり、上旬は御前崎沖から八丈島を通過しながら北上し、中旬と下旬は八丈島の東側を北上する流路となった。

上旬は潮岬沖から御前崎沖まで東進し、御前崎沖33.0°N付近から八丈島を通過しながら北上し、北東に流去した。暖水波及が野島崎沖から相模湾に向けて見られた。

中旬は潮岬沖から御前崎沖まで東進した後、石廊崎沖32.5°N付近まで離岸し、八丈島の東側を北上して北東に流去した。

下旬は潮岬沖から八丈島まで東進し、八丈島の南を通過しながら32.5°N付近まで離岸した後、S字状に北上して北東に流去した。

【沿岸域水温】

上旬は雲見で「やや低め」、稲取、下田、沼津で「平年並」、伊東、焼津で「やや高め」であった。中旬は稲取、下田、雲見、沼津、焼津で「やや低め」、伊東で「平年並」であった。下旬は沼津で「低め」、稲取、下田、雲見、焼津で「やや低め」、伊東で「平年並」であった。

【竿釣カツオ】

1月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げはなかった(前年同月の水揚げなし)。

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は171.1トンで、前年(123.8トン)の1.4倍、平年(251.8トン)の68%であった。また、1か統当たりの水揚量は24.4トン(前年:17.7トン、平年:36.0トン)であった。水揚量の多い漁場は、伊豆山漁場(60.7トン、マアジ、さば類、メアジ)、次いで谷津漁場(41.4トン、クサヤモロ、さば類、スルメイカ)であった。

多獲された魚種の水揚量は以下(表)のとおりで、マアジは58.6トン、前年比5.0倍、平年比7.9倍で、昭和57年以降、最も水揚量が多かった。クサヤモロは36.0トン、前年比32.2倍、平年比608.6倍で、平成9年以降、最も水揚量が多かった。さば類は25.4トン、前年比88%、平年比42%であった。水揚げされたさば類のうち、マサハは5.0トン、前年比38%、平年比37%、ゴマサバは18.0トン、前年比1.1倍、平年比36%、さばっこは2.4トン、平年比1.3倍(前年水揚げ無し)であった。スルメイカは11.0トン、前年比83%、平年比22%であった。メアジは8.0トン、前年比43%、平年比2.8倍であった。その他の魚種については、クロマグロ(6.5トン、前年比11.3倍、平年比11.7倍)、シイラ(1.1トン、平年比56.9倍(前年水揚げ無し))、カンパチ(0.6トン、前年比1.7倍、平年比6.1倍)が昭和57年以降、キハダ(1.0トン、前年比5.0倍、平年比33.5倍)が昭和62年以降、最も水揚量が多かった。

多獲された魚種の主な漁場は、以下(表)のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、マアジでは伊豆山漁場が73%(42.7トン)、クサヤモロでは谷津漁場が97%(34.9トン)、さば類では北川漁場が22%(5.7トン)、伊豆山漁場が19%(4.8トン)、川奈漁場が15%(3.9トン)、谷津漁場が15%(3.7トン)、スルメイカでは北川漁場が42%(4.7トン)、富戸漁場が18%(2.0トン)、メアジでは伊豆山漁場が40%(3.2トン)、古網漁場が22%(1.8トン)、富戸漁場が17%(1.3トン)であった。

*平年：昭和57年～令和6年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

| 魚種 | 水揚量(トン) | 前年比 | 平年比 | 主な漁場 |
|-------|---------|-------|--------|--------------|
| マアジ | 58.6 | 4.95 | 7.92 | 伊豆山 |
| クサヤモロ | 36.0 | 32.24 | 608.58 | 谷津 |
| さば類 | 25.4 | 0.88 | 0.42 | 北川、伊豆山、川奈、谷津 |
| スルメイカ | 11.0 | 0.83 | 0.22 | 北川、富戸 |
| メアジ | 8.0 | 0.43 | 2.81 | 伊豆山、古網、富戸 |

[サバたもすくい・棒受網]

小川港所属の棒受網漁船は、たもすくい漁業主体で操業した。漁場は、中旬は三本、下旬は三本、大島千波及ひ利島に形成された。水揚量はゴマサバ7.0トン（前年同月11%）であり、1隻当たり水揚量は1.7トン（前年同月比23%）であった。マサバは混獲される程度であった。平均単価は、マサバ378円/kgで前年同月（216円/kg）を上回った。ゴマサバは425円/kgで前月（428円/kg）並で、前年同月（218円/kg）を大きく上回った。

小川港 さば類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

| 期 間 | 水揚量（トン） | | 水揚日数 | 水揚隻数 | 水揚/隻（トン） | | 平均単価（円/kg） | | 漁 場 |
|---------|---------|-------|------|------|----------|------|------------|------|------------|
| | マサバ | ゴマサバ | | | マサバ | ゴマサバ | マサバ | ゴマサバ | |
| R8年1月上旬 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 中旬 | - | 2.1 | 1 | 1 | - | 2.1 | - | 422 | 三本 |
| 下旬 | 0.0 | 4.9 | 3 | 3 | 0.0 | 1.6 | 378 | 427 | 三本、大島千波、利島 |
| R8年1月計 | 0.0 | 7.0 | 4 | 4 | 0.0 | 1.7 | 378 | 425 | 三本、大島千波、利島 |
| R7年1月計 | 0.0 | 66.0 | 5 | 9 | 0.0 | 7.3 | 216 | 218 | 大島千波 |
| R6年1月計 | 0.6 | 109.3 | 8 | 14 | 0.0 | 7.8 | 245 | 217 | 大島千波 |

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。
*表中の「-」は水揚げがなかったことを示す。

[シラス船曳網]

県内7港における1日1か統当たりの水揚量は、遠州灘（新居、舞阪、福田、御前崎）が329kg、駿河湾（吉田、用宗、由比）が261kgであった。平均水揚量は291kgで前年同月（161kg）の1.8倍、平年同月（過去5か年平均：167kg）の1.7倍であった。また、総水揚量は96トンで前年同月（46トン）の2.1倍、平年同月（39トン）の2.5倍で前年同月、平年同月を大きく上回った。平均単価は1,100円/kgで前年同月（1,651円/kg）の67%、平年同月（1,289円/kg）の85%で、前年同月を大きく下回り、平年同月を下回った。
*平年：過去5か年（令和2年～令和6年）の平均値

7港のシラス水揚量

| 漁 港 | 水揚量（ト） | 延日数 | 延統数 | 平均水揚量（kg/統） | 平均単価（円/kg） | |
|--------|--------|------|-----|-------------|------------|-------|
| 遠州灘 | 新 居 | 3.3 | 2 | 14 | 235 | 838 |
| | 舞 阪 | 11.0 | 2 | 56 | 196 | 1,079 |
| | 福 田 | 9.1 | 2 | 42 | 217 | 1,184 |
| | 御前崎 | 25.3 | 4 | 36 | 702 | 902 |
| 駿河湾 | 吉 田 | 36.5 | 5 | 116 | 315 | 1,082 |
| | 用 宗 | 10.0 | 3 | 47 | 214 | 1,688 |
| | 由 比 | 0.4 | 3 | 17 | 22 | 1,417 |
| R8年1月計 | 95.6 | 21 | 328 | 291 | 1,100 | |
| R7年1月計 | 46.0 | 18 | 286 | 161 | 1,651 | |
| R6年1月計 | 46.5 | 17 | 283 | 164 | 963 | |

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

[まき網（いわし類）]

マイワシ、カタクチイワシは沼津港、小川港、静浦港、伊東港では水揚げがなかった。
伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは0.009トンで、カタクチイワシは水揚げがなかった。
*平年：過去5か年（令和2年～令和6年）の平均値

[調査船駿河丸の動向]

| | | | | |
|--------|---|--------|-------------------|-------|
| 1月 6日 | ～ | 1月 7日 | 地先定線観測調査 | (2日間) |
| 1月 19日 | ～ | 1月 20日 | MaOI マイクロプラスチック調査 | (2日間) |
| 1月 22日 | ～ | 1月 23日 | 流況調査 | (2日間) |
| 1月 26日 | ～ | 1月 27日 | サクラエビ音響調査 | (2日間) |
| 1月 29日 | ～ | 1月 30日 | サクラエビ漁場海底地形調査 | (2日間) |

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

トップページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>
 海洋情報のページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/O1ocean/>
 右のQRコードから、人工衛星による観測情報、県内沿岸水温情報、関東・東海海況速報等を見ることができます。

